

《本学所蔵の貴重資料紹介》

『七科約説』（1878～1879年刊）

「七科約説」とは

日本最初の西洋医学書です。1874年（明治7年）浜松県は西洋医学を学ぶために設立した浜松病院の院長として太田用成を招きました。医学書翻訳の必要性を感じた太田は、同僚の柴田しょう平、虎岩武と共にペンシルバニア大学ハツホルン教授が1879年に刊行した「医学大鑑」の翻訳を手がけ浜松にて出版したものです。内容は、解剖・生理学・化学・薬物・内科・外科・産科の七科に及ぶことからこの書名がつけました。



精巧な木口木版が豊富にあります。

図書館ギャラリーにポスターを展示しています。

もっと知りたい方は…

浜松市博物館 特別展示室にて

太田用成没後百年記念 テーマ展「七科約説と浜松の医療史」

9月8日（土）～10月8日（月）

西洋医学書「七科約説」を翻訳、出版した太田用成の没後百年を記念し、浜松の医療の歴史をたどります。



防災意識を高めよう

あなたはだいじょうぶ？

図書館では、防災意識を高めるため、随時、防災関連の記事を掲示します。

南海トラフ巨大地震の被害予想・防災訓練・津波への備え・非常食・火災 など。

備えていれば、被害は最小限にすることができます。

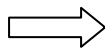
点検してみましょう。

- 非常食・水は最低3日分ありますか？
- 家族との連絡方法を確認していますか？
- 何処に避難するのか知っていますか？
- 家具などが倒れてこないように、対策をとっていますか？



図書館で

火災が起ったら・・・



落ち着いて状況判断！



消火器設置場所は、
1階2階 各4ヶ所。
覚えておこう。

緊急時連絡先

防災センター

守衛室

時間外受付

053-435-2163

053-435-2617

053-435-2616